



【美術】～光の三原色で 「遊ぶ・学ぶ・創造する」～



第四北越銀行では、新潟の未来を担う子どもたちの成長を応援するため、金融や文化芸術、スポーツなどの分野で活躍するプロや専門家と接する機会をプレゼントする「だいいほくえつアカデミー」を開校しています。

今年の【美術】の授業では、光の三原色を用いて、オリジナルな光と影の世界を創出します。自由な発想で自分だけの光の世界をつくってみましょう！

日 時	8月26日(金) 14:00～16:00
対象者	新潟県内にお住まいの小学1年生～6年生(保護者同伴)
定 員	親子12組24名
内 容	LED電球による光の三原色を用いた実験的な遊びから色光の原理を学ぶとともに、オリジナルな光と影の世界をつくります。
会 場	第四北越銀行 本店(住所:新潟市中央区東堀前通七番町1071-1) ※会場までの交通費は参加者のご負担となります。 ※なお、お車でお越しの際は、本店駐車場のご用意が難しいため、大変恐れ入りますが近くのタイムパーキングに駐車いただきますようお願いいたします(有料)。
参加費	無料
申込方法	第四北越銀行のホームページから、お申し込みください。また、最寄りの第四北越銀行の窓口でも受け付けいたします。 (1) ホームページからのお申し込み ・ 当行ホームページ「だいいほくえつアカデミー」のページから、申し込みフォームに必要事項を入力の上、送信してください。 (2) 銀行窓口からのお申し込み ・ 所定の申込書に必要事項をご記入の上、最寄りの銀行窓口でお申し込みください。
お申込締切	2022年7月25日(月)まで
当選結果通知	申込多数の場合は抽選とさせていただきます。なお、当選者の発表は、 <u>当選者の方のみ、8月5日(金)までに発送の「入学許可証」にてご連絡させていただきます。</u>
お問い合わせ先	〒951-8066 新潟市中央区東堀前通七番町1071番地1 株式会社 第四北越銀行 総合企画部広報室(担当:吉田、田村、大沼) TEL 025-222-4111

保護者のみなさまへ

 **今年度のだいしほくえつアカデミーは、サステナビリティを実現するため、国際連合が提唱する SDGs に配慮した取り組みの一環として企画しました！**

第四北越フィナンシャルグループは、サステナビリティの実現に向けてその社会的責任を果たすため、ESG（環境・社会・ガバナンス）に関する社会的課題の解決に積極的に取り組むとともに、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献することで、地域とともに持続的に成長していくことを目指しています。

この「だいしほくえつアカデミー」でも、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献することを意識して授業を構成しています。

だいしアカデミー【美術】の授業で目指すことは？

今回の【美術】の授業では、SDGs の 17 の目標のうち、以下の目標を意識して授業を企画しました。ぜひ、今回の授業で「持続可能な社会」について一緒に考えてみましょう！

【美術：光の三原色で「遊び・学び・創造する」】

授業のねらい	SDGs の 17 の目標
<ul style="list-style-type: none"> 自由な発想で作品づくりをすることで創造力を高める。 身近な自然の一つである「光」の原理や役割について学ぶことで、「持続可能な循環型社会」について興味関心を持つきっかけをつくる。 	目標 12 [持続可能な消費と生産]、目標 13 [気候変動]  
<ul style="list-style-type: none"> 新潟大学さまと連携し、地域の持続的成長を考える機会を提供する。 	目標 17 [パートナーシップ] 

「SDGs」とは？

2015年9月に国連サミットにおいて採択され、国連に加盟する193カ国すべての国がその目標達成に向けた取り組みを行うことが決定している。2030年までの15年間で、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処しながら、誰も置き去りにしないことを確保するための取り組みとして、17の目標と169のターゲットから構成されている。

	目標1【貧困】 あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち		目標7【エネルギー】 すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する		目標13【気候変動】 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
	目標2【飢餓】 飢餓に終止符を打ち、食糧の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する		目標8【経済成長と雇用】 すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する		目標14【海洋資源】 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
	目標3【健康】 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する		目標9【インフラ、産業化、イノベーション】 レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る		目標15【陸上資源】 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
	目標4【教育】 すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する		目標10【不平等】 国内および国家間の不平等を是正する		目標16【平和】 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
	目標5【ジェンダー】 ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る		目標11【持続可能な都市】 都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする		目標17【パートナーシップ】 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化
	目標6【水・衛生】 すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する		目標12【持続可能な消費と生産】 持続可能な消費と生産のパターンを確保する		